

意見交換会における主な区民意見

9月7日 午後7時～8時20分	鷺 宮地域センター	16人
9月8日 午後7時～8時00分	南中野地域センター	4人
9月11日 午後7時～8時30分	中野区役所	8人

主な発言

- 防災計画との違いは何か・重複していないか・一本化することはできないのか。
- 避難所について、防災計画にある避難所を指定することになるのか。
- 自衛隊の派遣要請の記述があるが、区は要請したいということなのか。
- 国民の協力として消火活動が挙げられているが、避難した方がいい場合もあると思うがどうか。
- このような計画は他の国にもあるのか。(他の自治体はどうか)
- 意見交換会の意見をどのように反映するのか。
- 武力攻撃災害の兆候を発見した場合の通報について、どのように考えているか・通報しないとどうなるのか。
- 住民は何をすればいいのか・どのような役割を期待しているのか。
- 防災会の現状からして、これ以上の役割を担うことは困難と思う。
- 有事関連三法が十分な議論のないまま制定した経緯があることから、このような計画が本当に必要なのか・他にすべきことがあるのではないか。
- 国民の協力を強いたり、物品や施設を提供することになる武力攻撃事態対処法の段階から反対である。
- この計画にかかる予算はどうなっているのか。
- 一度聞いただけでは理解できない・わかりやすく記述してほしい。
- 意見交換会の回数が少ないと思う。
- 参加人数からしても区民に関心もたれてない・関心をもたれるよう意見交換会での発言を知らせる工夫や努力をしてほしい。